

令和5年度 全国病院歯科衛生士連絡協議会 実施要領

1 目的

医科歯科連携のチーム医療は、歯科医師・歯科衛生士による口腔健康管理が患者の低栄養や肺炎予防を通して在院日数を減少させ、患者のQOLの向上等に寄与することが明らかになってきている。

そこで、本協議会では、病院・診療所に勤務する歯科衛生士が、チーム医療における知識・技能の習得及び最新の情報の共有化を図り、医科歯科連携のチーム医療に的確に対応することを目的として開催する。

2 開催趣旨

歯科衛生士間における病診連携のツールとして、日本歯科衛生士会では「歯科衛生士連絡書」を作成、2020年に書式をリニューアルしウェブサイトにて公開している。

「歯科衛生士連絡書」は、チーム医療における医科歯科連携が推進される中で、医療機関や施設が変わっても、患者さんやご家族に安心して歯科医療を受けていただくために、病院、診療所等に勤務する歯科衛生士が、それぞれ責任を持って口腔衛生処置を行った際、次に担当する歯科衛生士と情報を共有・把握するためのものである。病院と診療所等の間で歯科医師の「診療情報提供書」が渡される機会に、次の医療機関で担当する歯科衛生士宛に「歯科衛生士連絡書」を同封していただきたいと考えている。

しかし残念ながら、これまでの本協議会でのアンケート結果からその活用や周知がまだ不足していることがわかり、今回、具体的な活用方法のアクションプランを皆様と共に考え、歯科衛生士が行う病診連携を推進していただけるよう皆様と一緒に考えたい。

併せて、厚生労働省医政局歯科保健課長 小椋正之先生からのご講演をいただき、国が考える歯科保健医療の動向を直接お伺いできる貴重な機会を皆様と共有し、歯科衛生士の連携を推進していきたい。

3 開催日時

令和5年9月16日（土）14：30～16：30

4 開催場所

静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ

5 開催方法

日本歯科衛生士会第18回学術大会併催（現地開催）

6 実施主体

公益社団法人日本歯科衛生士会（担当：病院委員会）

7 参加対象者

都道府県歯科衛生士会の病院歯科衛生士担当者および趣旨に賛同する病院・診療所の歯科衛生士

8 実施内容（予定）

開会挨拶	14:30～14:35	公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美
講演	14:35～15:05	「歯科保健医療に関する最近の動向（仮題）」 厚労省医政局 歯科保健課長 小椋 正之先生
	15:05～15:20	質疑応答
ワークショップ	15:20～16:20	テーマ：病診連携のアクションプランを考えよう ～歯科衛生士連絡書の具体的な活用について～ ミニレクチャー&ワークショップ
	16:20～16:30	まとめ 総評・助言
閉会	16:30	